

御出になつて居り全県あげて歓迎して居りました。

△ 東京武蔵野R、Cに出席致しました。50人程度のクラブで、戦時中に東満で軍医中尉であつた宮田重雄画伯とも逢いました。ゲストとしてスピーチを願つた場合は謝礼金が1万円以上とかで、これは全部ニコニコ・ボックスで賄うと聞えて我がクラブでもニコニコ・ボックスが強化。拡大なされる様な環境づくり、施策が望しいと、ため息が出た次第です。

△ 機中で名古屋の人と話をしたら、名神高速道路の開通について意気洋洋と話をして居りましたが、名古屋を日本の中心にするとの意気込みには、感服致しました。

◎ 勝木分区代理

四国の高知県で挙行される果実生産者大会に出席致しましたが、ビジターとして出席したR、Cでは食事が閉会間際に出されたのには閉口でした。また我々は旅をしてR、Cに出席致しますが、小さなクラブでは、必ずメンテーブルに着席させられて、スピーチを請われる事が多い様ですから、その様な心の準備が大事と存じます。

第350区	2月	出席率
第1位	100%	網走 北見東 留萌 留辺シベ 帯広北
第6位	99.09%	札幌東
第7位	99%	名寄
第12位	98%	函館東
第22位	96.22%	函館
第29位	93.96%	函館北
出席率		92.45%

インターンティ、ゼネラル、フォーラム 開催の御案内

- 日時 昭和43年5月19日(日曜日)
登 録 12時~12時45分
フォーラム 12時45分~17時30分
懇 親 会 18時~20時
- 場 所 新 川 町 共愛会館
- 会 費 登 録 料 500円 懇親会費1,500円

The Weekly Report of Hakodate North R.C



第197回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム

卓 話 “日本経済の現況と見直し”

富士銀行経営相談所長 内藤義生氏

- 米 司 会 俣野会長 米 齊 唱 我等の生業
- 米 ゲ ス ト 荒木一郎氏 (函館営林局長)
- 米 ビジター 安宅幸助君 (山形県村山、消防機器製造)
竹田留治君外8名 (函館) 小林一郎君外8名 (函館東)

米 会長挨拶

本日は世界赤十字デーであります。ロータリアンとしても世界社会奉仕に力を入れてゆきたいと存じます。来る19日はインターンティ・ゼネラル、フォーラムが行われますので是非御参集ください。

米 幹事報告

例会終了後理事会を行ないます。

米 ニコニコ・ボックス

- 布日会員が函館市高所得第13位とランクされました。およろこび申し上げます。
- 市川会員がライフル射撃大会で優勝。ニコニコ・ボックスでも上位入選。
- 俣野会長ロータリー胸章をつけたままの帰宅により金一封。

米 例会場変更の御知らせ

次回22日の例会場は五島軒の都合に依り、末広町五島軒で行ないますので充分に御注意ください。

米 出席報告

- 本日の出席 会員38名 出席34名 欠席4名
- 前回の出席率 会員38名 出席27名 欠席11名
他クラブ出席9名 出席合計36名 94.74%
- 他クラブ状況 函館97.27% 函館東88.46%
- 4月平均出席率 函館 95.68%
函館東 90.66%
函館北 92.81%

米 卓 話 “林業と国有林の経営” 函館営林局長 荒木一郎氏

本年は明治100年、開道100年記念として各地に於いて植樹行事が行なわれ、5月1日から7日迄は緑の週間ですが田沢湖畔では国土緑化国民運動として本月19日に天皇皇后両陛下の御台臨を仰ぎ記念植樹が行なわれることになつています。

林業と言うと近代産業に緑遠い様に感じられますが、北海道産業の総生産高約8千億の内、第1位食品、第2位紙、パルプ、第3位鉄工、第4位木材と第2位と第4位を占有して居ります。函館市のそれは第5位(木製品)と第6位(パルプ、紙加工)と占め重要なウエートを占めて居ります。木材の需要は35年に比し41年はその116%増で国材5700万立米、外材は2500万立米で国内生産は停滞気味であります。依つて附加価値のある加工利用が望まれて合板、パルプ利用が顕著であり、加えて燃料構造変化にもより、木を燃料に利用と言う事は少くなりました。

国民一人当りの木材使用量はスウェーデンの2.5立方メートルをトップとし、アメリカ、ソレンが2立方メートル程度そして日本は0.7立方メートルであります。日本では絶対生産量が不足のため、石油に次いで第2位の輸入品目であります。誠に国土の7割が森林地区である日本として、関係者の一員としても誠に不面目に感じている所であります。函館地区には製材所は62工場あり年間6万4千立米を生産して居り、その原料は7割までソレン材であります。

道南の森林は100%が広葉材でブナの木が多く、針葉材は皆無という地理的条件の為、輸入に依存する訳ですが今後の輸入価格の高騰を見込むと、将来仲々容易でないのではないかと感じられます。

木へんに無と書いてブナと呼ぶ道南地方の主生産のブナ材は、昔は利用が全く無く燃料に限定されて居りましたが、現今では加工技術が進歩して各方面で利用されて居ります。当地ではフローリング、枕木等でありますが中部日本(名古屋方面)では弱電機関係に加工し易く且つ塗装しやすくと好評で、1m²8500円の当地相場の5割増と言われて居ります。

国有林の経営

輸入第2位を占める林業ではありますが、一応日本は森林国で国土の7割が森林であり、北海道も7割程度を占めて居ります。全国では30%、北海道では50%を農林省が管理経営しているのでありますが、林業自身の持つ地味な性格のため営林局自体の性格すら世人に認識されてない点があります。林産業務と共に国土保全及び都市集中化の趨勢に対処して緑化地帯づくりによつて国民憩いの場を造る間接的効果に努力し自然林、風致林維持に努力して居ります。函館営林局でも39万町歩の4割は保安林、自然風致林として保護し、あとを伐採し植林をして居ります。斯様に国民生活の福祉に重点を置き、国みづから



営林局の営する国有林の経営は全く容易ではありません。

営林局の如く収益性云々と同一視する事は出来ないのではありませんが、管内に営林局は5ヶ所、本州に9ヶ所併せて14ヶ所の内で営業成績は函館が2年度は収入16億支出38億であります。然し我々は将来に対する地味な投資の為に局員一致協力して合理化に努力して居ります。

新緑の大沼湖畔の近くにブナ山があります。ブナを植樹した山で、この山は日本で唯一のものであります。明治2年ドイツ人アル・ガルトナー氏が洋式農場を始めてこの地に経営した時、故郷をしのんでブナの苗木を植えたのがその発端とあります。明治初期に植えた小さな苗が亭亭として伸び我々に緑と成長の喜びを与える、このブナ山を一度御覧になつて下さい。

米 ロータリーだより

——— 関西R・C (第352区岩手県)

藤原氏3代にわたる栄華の跡 ———

みちのくの旅ほど興味の深いところはない。特に平泉の中尊寺は誰でも一度は必ず訪れるところで、日本の歴史の遺産を眼のあたりに見る事が出来る。言うまでもなく北方の王者として君臨した藤原3代にわたる100年の栄華の跡は金色堂や荘大なる礎石が残る毛越寺、無量光院、平安朝の浄土庭園の大泉ヶ池にしのぶことが出来、かつて訪れた芭蕉も、「五月雨の降りのこしてや光堂」「夏草やつはものどもが夢の跡」の名句を残している。また附近一帯には義経最後の高館、悪路王の達谷の窟。厳美溪などがある。

この豊富な観光資源と美しい自然美にかこまれた一関市は仙台市から東北本線で約1時間30分のところで、岩手県の南の玄関口であると共にこれらをめぐる観光基地でもあります。

会員数 32名 例会日 月曜日

例会場 グリル ふくはら

承認日 昭和41年9月8日